



進路指導部

猛暑の2週間で始まった2学期も、ようやく過ごしやすくなってきました。秋雨前線の影響が心配ではありますが、明後日は白帆祭体育の部です。中止となった文化の部で燃焼することができなかつた3年生も、いい汗をかいてもらいたと思います。

3年生は進路に向けての取り組みがいよいよ本格化、具体化してきました。昨日、第1回校内推薦会議があり、出願期日が早い大学と、短大、専門学校に関して推薦希望者を審議しました。新型コロナウイルスの影響で半月遅れとなった、大学の総合型選抜(AO)の出願受付は昨日から開始されました。すでに出願受付が始まっている専門学校なども含め、昨日の段階で約35名が出願、あるいは出願予定です。

現3年生が挑戦する2021年度入試は、大学入試改革とコロナ禍のダブルパンチで弱気になり、早期に進路を決めようと総合型選抜、学校推薦型選抜の出願者が増えると予想されています。とはいえ、西高生の大半は一般選抜に向けて奮闘している最中だと思います。先週の土曜日には、共通テスト模試が行われ、7月の模試結果も返却されます。いくら頑張っても模試の成績が上がらず、落ち込む時もあると思いますが、今が踏ん張りどころです!!

①. 【 模試が返却されたら 】

上半年とも、7月29日に実施された校内実力テストの結果が返却されます。夏休み前の受験ですが、せっかく受験した模試です。以下の手順に従って見直しを進め、最大限に活用してください。

〔手順1〕… 得点・全国偏差値など、自分の成績位置を確認する。

⇒ 「A, B, C …」の可否判定に一喜一憂するのではなく…

〔手順2〕… 2・3年生は、志望校合格に向けた「あと何点」という目標を確認する。

⇒ 合格目標まで、あと何点必要だったのか、具体的な点数を「教科ごと」に把握する。

⇒ どの問題ができていればその点数に到達できたのか、調べる。

〔手順3〕… 優先的に補強・克服すべき弱点分野を教科ごとに確認し、「特に復習が必要」と思う分野をチェックする。… 例：自分は国語の評論が苦手、英語の会話表現が苦手・自分が希望する大学に合格するには、どの問題ができていなければならないのか。

〔手順4〕… ⇒ 次回の模試での目標点を教科ごとに決め、弱点分野を重点的に勉強する。

〔手順5〕… もう一度解き直し、同じ間違いを繰り返さないように定着させる。

⇒ 模試でできなかった問題をファイルやノートに整理し、繰り返し見直す。

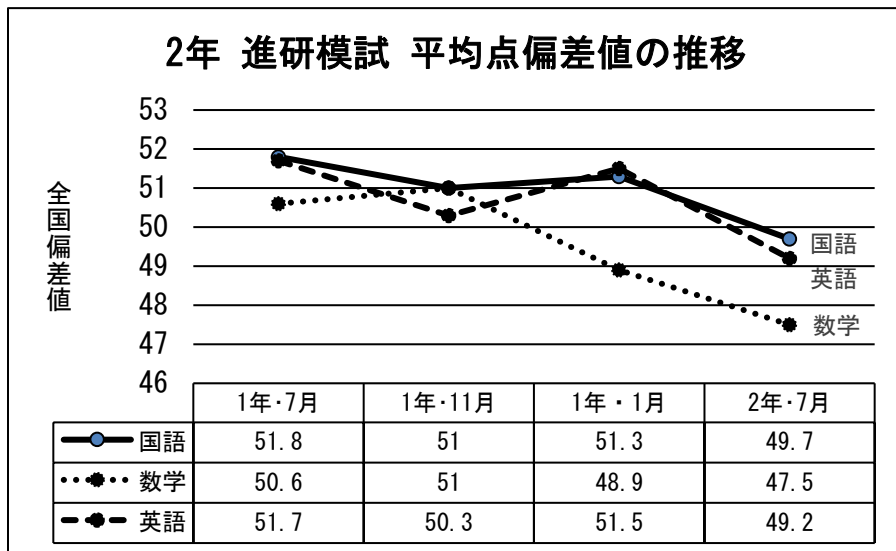
(『模試でできなかった問題ノート』は入試直前に必ず役立ちます。)

②. 【 2年生：7月記述模試の結果から 】

1年前に、好スタートを切った現2年生ですが、残念ながら今回は全科目で偏差値50を下回りました。ただ、過去の学年と比較すると決して低いわけではなく、特に偏差値40以下の下位層が少ないことが学年としての強みです。返却結果から自分の苦手分野を確認し、これから重点的に取り組んで下さい。すべての基本である毎日の授業や家庭学習に着実に取り組めば、結果は必ずついてきます。

志望校判定はほとんどの2年生にとって、がっかりするものだったと思いますが、今回の判定結果は気にする必要はありません。今回の模試は、漠然と憧れていたものを具体的な志望校という目標に変えるきっかけにする事が大きな目標です。ただ、志望校判定は第4志望まで記入できますが、すべて記入しなかった生徒が多く、併願校までまだ考えられない生徒が多いようです。コロナウイルス感

染拡大防止のため、夏休みのオープンキャンパスに参加できなかったことが原因かもしれません。国立大学に関しては、地元の千葉大学だけでなく、広く全国の大学を見ている様子が伺えました。オープンキャンパスも少しずつ再開し始めましたし、WEBによるオープンキャンパスや進学相談会が多数実施されていますので、希望大学のHP等で確認し、積極的に参加して下さい。



③. 【1年生：7月記述模試の結果から】

1年生にとって初めての全国規模の模擬試験(受験者数 38 万人)でした。学年全体を過去数年間と比較すると、国語、数学で過去最高、国数英総合偏差値も過去最高にほぼ並ぶ 52.3 の好スタートを切ることができました。とはいえ、高校受験時の自分の偏差値と比較するとおそらく 10 ほど低く(千葉西高校の偏差値は 60 前後)、今回の模試の結果を見て愕然とした生徒もいると思います。しかし、これが大学進学希望者の中での自分の今の位置である事を理解し、ここからスタートしましょう。

まずは今回の模試結果から見える自分の課題点を洗い出し、正しく認識してください。特に、新1年生は英語を少々苦手とするようです。長期休業から高校生活がスタートした影響もあつてか、授業について行けるか不安を持つ生徒が多く、高校英語の勉強の仕方がまだよく分からない生徒が多いようです。学間に王道はありません。高校生活の基本である授業に毎時間、真剣に取り組み、家庭学習も2時間を目標に継続してください。日々の積み重ねは、2年後に必ず実を結ぶはずです。

